

## 大山にぎわいプロジェクトを始動!

「大山」では、平成30年に大山寺開創1300年を迎えます。

この機を大山の魅力を再認識、情報発信する絶好の機会と捉えています。

しかし、この大山寺周辺は、国内旅行者の趣向の変化や少子高齢化の影響などにより、空き家、空き店舗が点在し、観光客への対応が困難な状況になりつつあるという課題があります。

このような課題の解決を図りながら、大山周辺のにぎわいを復活させ、新たな観光あり方を創造して、観光客を呼び込み、地域経済の活性化を進めます。

昨年度から大山自治会、大山観光局、今年1月に設立の大山寺参道沿いを中心にした活性化を担うまちづくり会社「株式会社さんどう」などが中心となって、「大山にぎわいプロジェクト」を始動させました。

ここには、大山寺で旅館を営む方や民間企業も参画しています。

このにぎわいプロジェクトは、各分野の組織団体が総力を結集して大山のブランド力を強化し、具体的な取り組みを実行することが目的です。

## にぎわいプロジェクトの実施体制

このプロジェクトは、5つの部会に分かれ、それぞれの分野に特化した具体的な取り組みを効果的かつ効果的に実践に結び付けるための体制を整えています。

### ①ブランドデザイン部会

大山参道を中心とした活性化施策の全体像を作ります。

### ②おもてなし部会

観光客のリピーターを増やすことや、顧客の満足度を高めるための取り組みを実施します。

▲ブランドデザイン部会のワークショップ



### ③お土産物部会

訪れた観光客や地元の方に愛されるお土産の開発、販売方法の企画と実践を行います。

### ④空き家、空き店舗対策部会

大山寺周辺の空き家、空き店舗の活用と担い手確保の取組を実施します。

### ⑤スキー場部会

低迷するスキー客。これにどう歯止めをかけるかについて、議論を行います。

## 部会の活動報告

ブランドデザイン部会は、民間企業と地元住民が協働してワークショップを行い、今後の大山のあり方について、話し合いをしています。

ここで出た提案や、意見を取りまとめ、大山寺エリアのブランドデザインを仕上げます。

また、おもてなし部会も活発に活動しています。大山町の豊富な食資源をテーマに大山開山1300年にちなんだ料理を開発するため、旅館を営んでいる方々の有志が集まり、メニューの企画、開発と販売戦略を検討するための試食会などが行われています。



▲ワークショップでの発表

## 今後の展開

このように、地方創生総合戦略の取り組みの一環として始まった「大山にぎわいプロジェクト」を通じ、大山ブランドをさらに盛り上げようとする気運が地元住民の間で、高まってきています。

その気運にのって一気に実践へつなげるため、地域の方と民間会社で、お互いに足りないものを補いあいながら、一体となることで、大山の新たな観光地としての価値の創出が期待されます。

### ◆問い合わせ先

地方創生本部事務局

☎ 0859・53・3120



▲試作料理